

【神戸市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

神戸市では、学習用コンピュータを使用する際は、独自のネットワークを介さず、学校から直接インターネットに接続する方式を採用して学校規模に合わせて通信容量を増やすことで通信環境の改善を図っており、文部科学省の求める同時に多数の児童生徒が高頻度で端末を利活用する場合にも、ネットワークを原因とする支障がほぼ生じない水準を全ての学校（261校（100％））で満たしているものと考えている。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和６年７月～９月にネットワーク調査を実施した結果、現在のネットワーク構成（WAN 回線＋UTM）において文科省推奨以上のスループットの計測確認ができており、構成としては問題ないことが確認できた。ただし、一部の学校で UTM より内側（LAN 側）でボトルネックになっている可能性が考えられる。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和８年１月提供開始予定の神戸市教育情報インフラ（KIIF4）において、LBO 回線と UTM 装置の高速化を行う。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和８年１月提供開始予定の神戸市教育情報インフラ（KIIF4）の構築に伴い、令和７年３月より順次、必要な学校において、LBO 回線と UTM 装置を 1 Gbps から 10Gbps へ変更する。